富山県立滑川高等学校

	学科名	学年	教科	科目	単位数	教科書	知識・技能	思考判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	海洋科	1年	水産	海洋情報技術	2	海洋情報技術（海文堂出版）				
	科目の目標	水産の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、水産業や海洋関連産業において情報技術を活用するために必要な資質・能力を育成する。								

月・考査等	単元名	指導内容	評価規準 知識・技能【知】	評価規準 思考・判断・表現【思う】	評価規準 主体的に学習に取り組む態度【態】	評価方法	補助教材	指導上の改善点など				
4	水産や海洋における情報技術	さまざまな情報技術	情報社会において、情報や情報技術の果たしている役割や及ぼしている影響を理解することができる。	情報技術について思考を深め、基礎的な知識と技術を活用することができる。	情報社会において、情報や情報技術の果たしている役割を探求しようとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	
5		情報セキュリティと情報モラル	ファイル管理や個人情報のセキュリティ管理、危機管理の方法について理解できる。 身近な事例を通して情報モラルの意義や必要性について理解できる。	情報のセキュリティと情報モラルについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	情報のセキュリティと情報モラルについて興味をもち、それらの意義や必要性を探求しようとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
中間考査									◎			
	水産や海洋における情報コミュニケーションと情報デザイン	情報メディア	情報社会における多様なコミュニケーションを実現するための情報メディアの特性を理解することができる。	情報メディアについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	情報コミュニケーションについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
6		情報のデジタル化と情報処理	情報のデジタル化と情報処理について、情報の統合など情報のデザインと関連して理解することができる。	情報のデジタル化と情報処理の課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。	情報のデジタル化と情報処理について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
期末考査									◎			
7	コンピュータとプログラミング	情報の表現法	数値や文字の表記法を理解することができる。	情報の表現法について思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	情報の表現法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト			◎	□	○	
8		アプリケーションソフトウェアの使用	アプリケーションソフトウェアに関する基礎的な知識や技術を身に付けることができる。	アプリケーションソフトウェアの使用方法について思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	アプリケーションソフトウェアの使用方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト			◎	□	○	
課題テ												
9		オペレーティングシステム	システムの構成、データ処理方式、オペレーティングシステムを使用してのファイル管理方法について理解することができる。	オペレーティングシステムについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	オペレーティングシステムについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト			◎	□	○	
10		プログラミング	プログラミング言語の基礎的な内容を理解することができる。	基礎的なアルゴリズム、プログラミングについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	プログラミング言語の基礎的な内容について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト			◎	□	○	
中間考査												
	情報通信ネットワークとデータ利用	情報通信ネットワークの概要	情報通信ネットワークの仕組みや種類、利用方法を理解することができる。	情報通信ネットワークの仕組みや種類、利用方法について思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践する	情報通信ネットワークの仕組みや種類、利用方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
11		情報通信ネットワークの活用	情報検索や情報共有と問題解決、データの収集、整理、分析及び結果の表現方法について理解することができる。	目的や状況に応じた構成要素とプロトコルを選択し、情報通信ネットワークの活用を行うことができる。	情報検索や情報共有と問題解決、データの収集、整理、分析及び結果の表現方法について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
期末考査												
12												
12	水産や海洋における情報技術の応用	海洋の情報システム	ICTなどを活用した安全で経済性を支援する通信システムについて理解することができる。	安全で経済性を支援する通信システムについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができ	ICTなどを活用した安全で経済性を支援する通信システムについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
1												
2		水産の情報システム	現在水産分野で活用されている情報システムについて理解することができる。	現在水産分野で活用されている情報システムについて思考を深め、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し実践することができる。	現在水産分野で活用されている情報システムについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとする。	ノート提出 小テスト				○	◎	□
学年末考査												
3												